

【R 1 8】ノベル

〔シチュエーションボイス台本〕

『みらい倶楽部

- ・ JKの性欲要求を全て満たす部活』
～男子の入部は全裸審査編～

作：七条右京

【登場人物】

- ・ ^{かざま ゆ い}風間優衣：女子生徒 1
- ・ ^{せきね なお}関根菜穂：女子生徒 2
- ・ ^{きょうもと おうか}京本 桜花：女子生徒 3
- ・ 男子生徒

【記号説明】

N：ナレーション

SE：効果音

「」：台詞

『』：心の声

■：男子生徒の台詞の想定箇所

N :

この学園には、女子生徒の性欲を全て満たす為の特別な部活がある。

その名は、みらい倶楽部。

女子は誰でも入部出来るが、

男子の入部に関しては、厳しい審査がある。

女子生徒の、ありとあらゆる性欲の要求に答える事が、必要不可欠だからである。

今日は、男子の入部審査の日である。

風間優衣 :

「次の男子、入って」

「学年とクラス、名前を言って」



「〇〇君ね」

「この倶楽部の活動については、充分理解した

わよね」

「納得のうえで、入部審査に来たのよね」



「男子は、女子のありとあらゆる性欲の要求に
答えなくてはいけないのよ」

「大丈夫かしら？」



「分かったわ」

「それじゃ、審査を始めるわね」

「顔の見た目は、合格点よ」

「顔を、もっと近くで見させて貰うわね」

「顔を近づけなさい」

「ちょっと、触るわよ」

「両手で頬を、ナデナデ」

「スベスベして、いい肌してるわね」

「横を向きなさい」

「耳を指で弄るわよ」

「イジ、イジ、イジ、イジ、」

「左の耳も、弄るわよ」

「イジ、イジ、イジ、イジ」

「いいわよ」

関根菜穂：

「次は、私の方に来て」

「私をじっと見つめて」

「綺麗な目をしてるのね」

「優しい目つきで、私好みだわ」

「唇を触るわよ」

「プニユプニユして柔らかくて気持ちがいいわ」

「色もピンク色で、健康な色ね」

「唇の感触を確かめるわよ」

「私に、チュッてキスしなさい」



「いいから、早くしなさい」

「良かったわよ」

「じゃあ、ベロチュウ、しなさい」

「チュッ、チュッ、ペロペロ、クチュピチャ、
モチュ、チュパ、プミョプミョ」

「舌と舌を絡ませた時の感触」

「唾液の匂いと味」

「口の中のヌルヌルとした感触」

「口の中の味」

「いやらしい音もいっぱい」

「良かったわよ」

「なかなか上手いのね」

「練習でもして来たの？」

京本桜花：

「今度は私よ」

「その口の中を見るわよ」

「口を開けなさい」

「喉ちんこが見える位、もっと大きく開けなさい」

「うん～、そのまま舌を出して」

「舌を指で摘まむわよ」

「ちょっと引っ張るわね」

「そんな声、出さないの」

「指で舌の上を撫でるわね」

「ヌルヌル、ヤワヤワ、いい感触だわ」

「指を入れて、口の中を撫で回すわよ」

「じっとしてなさい」

「右側の頬の内側を、二本の指でナデナデ」

「左の方も、二本の指でナデナデ」

「歯並びは、どうかしら？」

「上の歯を、指で丁寧にナデナデ」

「歯茎もナデナデ」

「下の歯も、指で丁寧にナデナデ」

「舌の内側をナデナデ」

「涎が沢山出て、垂れて来たわ」

「口の周りが涎だらけよ」

「口を閉じていいわよ」

優衣：

「それじゃあ、カラダを見て行くわね」

「着ている物を全部脱いで、全裸になりなさい」

「あれ、どうしたの？」

「覚悟して来たんでしょう？」

「さっさと、脱ぎなさい」

「いいわよ、気を付けの姿勢よ」

「私達がそっちに行くわね」

「そのままよ」

「近くから、じっくりと見させて貰うわよ」